

抗ウイルスフィルムの選び方

衛生管理と抗ウイルスフィルム

【衛生管理の基本三原則】

環境を衛生的に維持するためには、

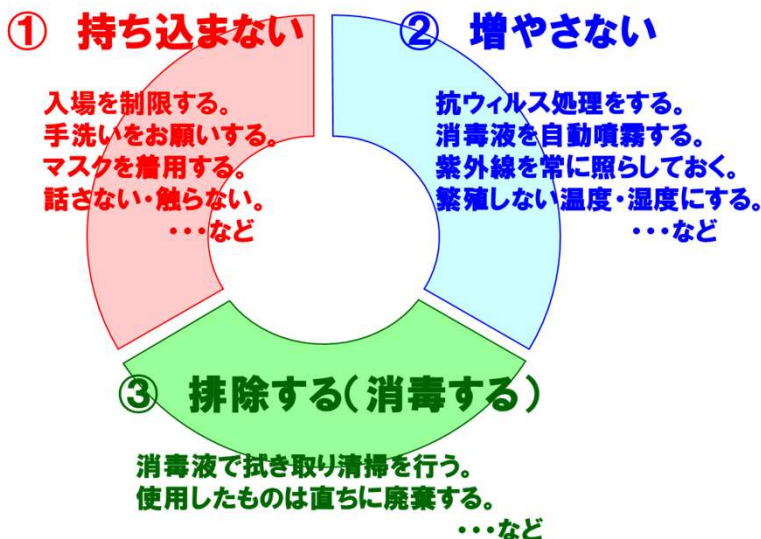
- ① 持ち込まない
- ② 増やさない
- ③ 排除する(消毒する)

を実現して、
病原体による汚染を予防することが重要です。

どれか一つを行えば十分・・・ではありません。
そのすべてを上手に組み合わせ、
根気強く行っていく必要があります。

抗ウイルスフィルム『VIRtech』は、

- ② 増やさない に効果的な機能フィルムです。
- ③ 消毒する と上手く組み合わせることで、一段高い衛生管理が可能になります。



【効果的な抗ウイルスフィルムの選び方】

衛生管理とはすなわち、リスク管理になります。

つまり、『常に病原性ウイルスが存在して、いかに早く除去できるか？』ではなく、
『万が一病原体で汚染された場合、接触感染のリスクがどれだけ長くなるか？』が
リスク管理の指標になります。

衛生管理は消毒と抗ウイルスの組み合わせ。
その組み合わせ方次第で
接触感染するリスクがある時間が、
大きく変わってしまいます。

		③ 排除する(消毒する)			
		消毒・清掃の頻度			
		行わない	毎朝(24時間ごと)	2時間おき	
② 増やさない 対策	対策しない (または抗菌フィルム)	効果なし	数日間のリスク (ウイルスの寿命)	最大1日間のリスク (消毒の効果)	最大2時間のリスク (消毒の効果)
	抗ウイルス フィルムの 活用	1週間で99%減衰	数日間のリスク (ウイルスの寿命)	最大1日間のリスク (消毒の効果)	最大2時間のリスク (消毒の効果)
		24時間で99%減衰 (SIAA規格)	最大1日間のリスク (フィルムの性能)	最大1日間のリスク (消毒の効果)	最大2時間のリスク (消毒の効果)
		2時間で99%減衰 (ISO18071)	最大2時間のリスク (フィルムの性能)	最大2時間のリスク (フィルムの性能)	最大2時間のリスク (消毒の効果)

ケアしたいウイルスの感染力の寿命や、消毒頻度から見て、そのリスク回避が充分でないとき、
確実にそのリスクが減らせられる高性能な抗ウイルスフィルムを選ぶことが重要になります。